

りんくる地域福祉新聞

石狩市の様々な地域福祉の話題を取り上げてお伝えする「りんくる地域福祉新聞」第22号です。いつも地域の会館等への掲示にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。これからも地域の話題をたくさんお届けしてまいりますので、よろしくお願いたします。

石狩市社会福祉大会開催しました

石狩市市制施行20周年記念事業第27回石狩市社会福祉大会が去る11月11日(金)、石狩市総合保健福祉センターりんくるにて開催されました。

当日は、来賓や被表彰者のほか250名を超える多くの市民に参加いただきました。

大会では、地域福祉活動にさまざまななかたちで貢献された方々への顕彰が行われ、17名の方に表彰状と感謝状が贈られました。

また、今年北海道社会福祉協議会会長表彰を受賞された方々への表彰状の伝達式も行われ、6名の方に贈られました。



式典終了後、休憩をはさんで講演会が行われました。今回は、5年前の東日本大震災で被災した岩手県大槌町の社会福祉協議会職員渡辺賢也氏を招いて、「3・11東日本大震災から5年」〜被災地の想いと今地域で取り組むべきこと〜と題して、震災当時の様子や被災地のこれまでの道のり、そして現在の地域の様子などを渡辺さん自身が地震直後の津波が迫りくる中、高台へ向けて逃げたときの体験を交えながら臨場感あるお話をいただきました。

東日本大震災から5年が経過し、時間が経過するとともに、マスクミ等での報道も少なくなり、復興への道のりにある現在の被災地の姿を目にする機会も減っています。しかし、私たちはこの震災を風化させることなく、復興へ向けて一歩ずつ歩んでいる被災地の今に寄り添っていくことが大切ではないでしょうか。

「がんばろう 大槌!」

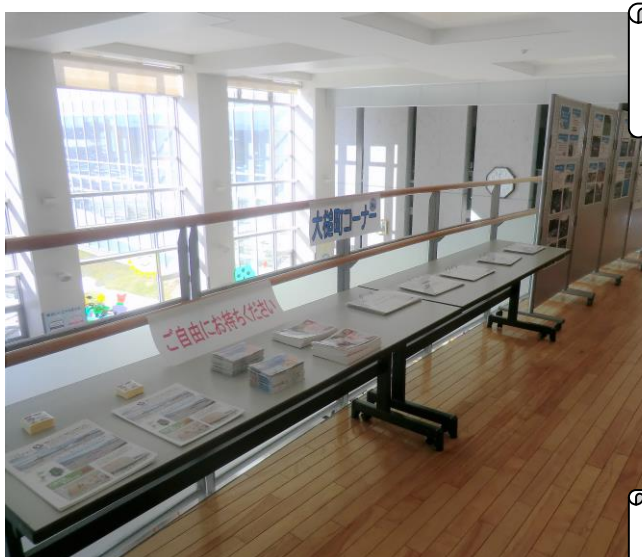
《第22号》
石狩市社会福祉協議会
発行

この壁新聞は、地域福祉推進を目指す「新・りんくるプラン」に基づき発行しています

大槌町情報



社協にあります!



台風十号被災地派遣

石狩市社会福祉協議会では、9月と10月にこの度の台風10号により被害を受けた「十勝清水町」と「南富良野町」へ職員2名を派遣しました。

被災地では、全道をはじめとする各地から訪れる「被災地の力になりたい」という想いを持つボランティアと住民の方のニーズを調整する災害ボランティアセンターの運営支援のお手伝いをしました。清水町、南富良野町も石狩市から車で数時間の場所ですが、現地に派遣された職員はわずかな距離の場所でのこのような自然災害による被害を目の当たりし、その恐ろしさを感じました。

南富良野町では、現在も週末はボランティア活動が続いています。同じ北海道民として被災地の状況を知ること大切で、石狩社協として今後も情報発信などできる支援を継続していきます。



歳末たすけあい運動

みなさまのご協力
お願い致します

● 推進期間

12月1日〜12月15日

歳末たすけあい運動は、地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、ひとり暮らし高齢者、在宅障がい者、介護が必要な方々などに義援金の贈呈や福祉事業への助成を実施しております。地域住民みんなで支え合い、安心して新年を迎えることができるように、今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

りんくるちゃんのつばやき



【11月6日】本日、花川北コミセンにて第17回石狩福祉芸能チャリティ『芸能の集い』が開催されマシタ♪毎年益金を社協に寄付して頂いております。社協の北原会長も出演してマシタ♪

りんくるちゃんツイッター 検索

新聞に関するご意見・お問い合わせは、石狩市社会福祉協議会まで!



(Tel 72-8184)

この壁新聞は、赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

